

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 6532

レジガード#200PB中塗

1. 一般名 ポリブタジエン樹脂塗料中塗
 2. 規格 社内規格
 3. 特徴
 1) ひびわれ追随性にすぐれている。
 2) 耐水性、耐海水性等の防食性にすぐれている。
 3) 塗装作業性にすぐれ、超厚膜塗装が可能である。

4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	20kgセット(主剤:16kg、硬化剤:4kg)				
色相	グレー、白				
光沢	7分つや				
密度 (23°C)	塗料	1.35(グレー)			
	揮発分	0.87			
加熱残分	93%(グレー)				
乾燥時間	温度	5°C	10°C	20°C	30°C
	指触	12時間	8時間	4時間	3時間
	半硬化	24時間	16時間	10時間	8時間
標準膜厚	500μm				
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目	内容				
下地処理	—				
調合法	主剤:80部、硬化剤:20部(重量比)				
可使用時間	5°C	10°C	20°C	30°C	
	5時間	3時間	40分	—	
使用シンナー	レジガードシンナーF夏型又は同冬型				
塗 装 法	塗装方法	コテ塗り、ローラー塗り、刷毛塗り			
	希釈率	0~5%(重量比)			
	標準使用量	0.75kg/m ²			
	標準膜厚	500μm			
	ウエット管理膜厚	600μm			
塗装間隔	温度	5°C	10°C	20°C	30°C
	最小	32時間	16時間	16時間	16時間
	最大	10日	10日	10日	10日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

6. 施工上の注意

- コンクリート面のレイタンス、塩分、油脂、湿気、塵埃、水分その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。特に硬化剤の粘度が高いので缶より十分に取り出すこと。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使用時間以内に使い尽くすこと。硬化反応が進んだ塗料はシンナーを加えても使用できない。
- 塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので必ず規定時間以内で塗り重ねを終了すること。尚、規定時間以上経過した場合は、材料表面をサンドペーパー或いはパワーブラシ等にて研磨し、さらにウエスで拭いて調整してから施工すること。
- 希釈には必ずレジガードシンナーFを使用すること。
- 塗装終了後の使用器具は直ちにレジガードシンナーFで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。
- 塗装後短時間以内に雨に当たると塗膜が白変する恐れがあるので注意のこと。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第4石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意 [警告]

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。